



当日の夜タチウオ仕掛け

●Tackle Guide
 テンピン仕掛けは道糸PE 2号、オモリ 80号が基準となる。船長の話ではトラブル回避のために1本バリのシンプル仕掛けがよいとのこと。釣り座決めの参考にするため、予約時に釣法を電話で伝えるようにしよう。

暗くなり活性が上がる
 18時20分。最初にタチウオを掛けたのは右舷トモ2番の松田さんで、強烈な引きを楽しみながら1メートルほどのタチウオを抜き上げる。
 続けて右舷ミヨシの北原さんが釣り上げたのは1メートルオーバーのタチウオ。私の隣の席の黒木さんも80センチ

▼ハリのチモトに夜光タコベイトなどのアピールアイテムを付けてもいい



つてきて各所でバタバタと船板をたたく音が聞こえる。この様子を見た船長は再び20、30メートルに仕掛けを下ろすように指示を出した。
 20時過ぎになり写真撮りをあらかた済ませたところで私も釣りに参加する。
 30メートルからリールのハンドル4分の1回転でゆっくり誘い上げてくるとコッソンとアタリ。
 今日あまりエサを追いかけないようなのでその場でクイックイットと誘いを入れていくとガッツと竿に重みが乗った。大きく竿を上げて合わせるとガガガッと見事にフッキングし、90センチのタチウオを釣り上げた。
 次投でも同様にして掛けたのだがリールリングの途中で痛恨のバラシ。

これからだと思ったところで土砂降りの雨が降り始め、雨具どころか着替えも用意していなかった私はここでリイヤして船室から様子を見ることにした。
 当日のパターンとしては食いがあまりないので、果敢に誘い上げるよりはデッドスローや指示ダナで置き竿にして食い込むまで待つほうが良いようで、左舷トモで誘いの



▲当日は海面から30メートル付近でアタリが多かった

●船宿 information

駿河湾沼津静浦港
真成丸
 ☎090・4465・6972
 (詳細は巻末の情報欄参照)



高橋 利昭船長

▶料金=夜タチウオ乗合一人1万円(エサ、氷付き)
 ▶備考=予約乗合、集合時間は電話確認。無料駐車可、午前船はマダイ五目ほかへ出船

パターンに苦慮していた小沢さん親子もこの方法でラストスパートをかけていた。
 22時を少し回ったところで沖揚がり。釣果は70、110センチのタチウオが一人5、15本と少々寂しかったが、次の日にはトップで34本と復調。
 皆さんも夕涼みを兼ねて出かけてみてはいかがだろうか。



▲今シーズンは1メートル以上の良型が交じる割合が多い

のタチウオを釣り上げてニッコリ。
 タチウオの群れが回避してきたのだろう。右舷胴の間の田辺さんに続き左舷胴の間の赤石さんがタチウオを釣り上げる。その写真を撮り終えて自席に戻ろうとしたら、黒木(弟)さんのタルにはすでに3本のタチウオが入っていた。次に赤石さんの竿が強烈に

ポイントはずぐ近く
 集合時刻の16時になると高橋判船長に指示された席に着いて各自準備を始める。
 タチウオの釣り方としてはテンピン、ルーアー、テナヤの3種類あるが、真成丸ではど

のスタイルでもよい。席決めの際に申し出れば船長が席を指定してくれる。17時になり、私を含めた14名を乗せて出船。ちなみにこの日は全員がテンピン仕掛けでの挑戦だ。
 出船してわずか5分。牛臥山の手前のポイントでアンカーが下ろされ、カカリ釣りの準備が整った。
 「水深は55メートル。40、50メートルの範囲を探ってみてください」と高橋船長から開始の合図が出されると、船宿で配られたサンマの切り身を付けて実釣スタート。
 夜釣りのタチウオの釣り方は基本的には昼のタチウオと同じだが、ほとんどの方が水中ライトを装着していた。
 その点を船長に伺うと、「水中ライトは自分は付けません。仕掛けも手返しやトラブル回避のため1本バリをおすすめします」とのこと。
 暗くなってタチウオが浅場に回避してきてからが本番だが、明るい時間でもタチウオがヒットしないわけではない。「明るいうちにヒットするタチウオは大型の場合が多いから気を抜かないでね」という船長の言葉に皆さん様ざまな誘いでタチウオにアピールす

ばらくすると徐々にお客さんたちが集まってきた。
 「三石忍さんのビデオを見て学習してきました。イメージトレーニングはバッチリです」と話してくれたのは兄弟で釣りに来た黒木さん。
 タチウオ釣り師にとって彼女はレジェンド的な存在であることを改めて感じた次第。
 「せっかく沼津まできたのですから今日は真成丸でダブルヘッターですよ」と話してくれたのは赤石さんで、クーラーの中には1.5キロのマダイのほかにもたくさんアジが入っていた。

18時前になると船内に明かりが灯され夜釣りらしい雰囲気になってきたのだが、まだ船内ではタチウオは取り込まれていない。
 テンピンでのタチウオ釣りはリールのハンドルを8分の1、1回転させながら指示ダナで誘っていく。
 初めにコッソンというアタリが出て合合わせずに、そのまま誘い上げるかその場でシェイクするか、ジッと竿の動きを止めて待ったりして、グツと竿を押し込め込むような食い込みのアタリが出たら竿を立

知得! Tips and Tricks
タチウオの頭で潮汁
 タチウオの頭や骨を捨てないだろうか? そうしたら実にもったいない。一度頭と骨を使って潮汁を作ってみてほしい。沸騰したら頭と骨を入れてしょう油と塩で味を整えるだけ。仕上げに刻みミョウガを入れたらあっという間に完成する。非常においしいのでおすすめです。
 ▲料理に頭を使うときは鋭い歯に注意しよう

●駿河湾沼津静浦港発 ↓沼津沖

本誌ABC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki

猛暑の夏は夜釣りで決まり
 駿河湾の夜タチウオ好況

今年の猛暑日の日数が東京ではさらに更新されたというニュースが伝えられる。このこの暑さはいつまで続くのだろうか?
 釣りはしたいけど暑さに二の足を踏んでいる方には夜風

も心地よい沼津の夜タチウオなどはどうだろう。
 8月11日に駿河湾沼津静浦港の真成丸へと出かけた。
 当日はお盆の帰省ラッシュと重なり、早めに出発したの港には一番乗りで到着。し

今年のお盆の帰省ラッシュと重なり、早めに出発したの港には一番乗りで到着。し



●すずき よしかず/ラーメン店で「トッピングにシナチク」と言ったら「なんですか?」と言われた。若者にはメンマでないと通じず歳の差を感じました。